

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成18年1月5日(2006.1.5)

【公表番号】特表2005-526113(P2005-526113A)

【公表日】平成17年9月2日(2005.9.2)

【年通号数】公開・登録公報2005-034

【出願番号】特願2003-587802(P2003-587802)

【国際特許分類】

C 0 7 D 401/12 (2006.01)

A 6 1 K 31/501 (2006.01)

A 6 1 P 25/22 (2006.01)

C 0 7 B 61/00 (2006.01)

【F I】

C 0 7 D 401/12 C S P

A 6 1 K 31/501

A 6 1 P 25/22

C 0 7 B 61/00 3 0 0

【手続補正書】

【提出日】平成17年10月14日(2005.10.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0019】

プロセスa)及びb)によれば、一般式(I)(式中、X及びYの一方は一般式(III)で表される基であり、他方は水素又は塩素であり；及びR、Hal及びnは上記のとおりである)で表される本発明の化合物に相当する原料物質が使用される。原料物質を接触水素添加に供する。反応は、それ自体公知の方法(例えば、March, J.: Advanced Organic Chemistry, Reactions, mechanism and structure, 第4版, John Wiley & Sons, ニューヨーク, (1992)参照)によって行われる。